

環境保全活動のあゆみ

	コスモ石油グループ / 石油業界関係	社会の動き
1986	コスモ石油発足 「環境安全管理規程」「総合安全対策本部規程」制定 プレミアムガソリンの完全無鉛化	
1987	堺製油所「FCC装置排ガス脱硫装置」完成	「モントリオール議定書」採択(オゾン層保護条約議定書)
1989		バルティーズ号座礁、アラスカ沖で原油流出事故
1990	四日市製油所「コージェネレーション設備」完成	湾岸危機勃発 ペルシャ湾に原油大量流出
1991	ペルシャ湾流出油防除へ専門家チーム派遣	「経団連地球環境憲章」策定
1992	堺製油所「常圧蒸留装置加熱炉脱硝設備」完成 軽油中硫黄分0.2質量%以下に低減	「気候変動枠組条約」採択 「環境と開発に関する国連会議(地球サミット)」開催 通産省「環境に関するボランタリープラン」作成要請
1993	「地球環境行動プログラム」策定、通産省に提出 「地球環境委員会」設置、「地球環境委員会規程」制定	「環境基本法」制定
1994	「第1回地球環境委員会」開催(8分科会発足)以降毎年開催 環境目標「地球環境問題への取り組み」以降毎年策定し実行 千葉製油所「軽油深度脱硫装置」完成	「国連気候変動枠組条約」発効 「環境基本計画」閣議決定
1995	堺製油所「コージェネレーション設備」完成 堺製油所「資源エネルギー庁長官賞」受賞(エネルギー管理優良工場)	「気候変動枠組条約第1回締約国会議(COP1)開催」(ベルリン) 阪神・淡路大震災発生
1996	「環境行動計画フォローアップ結果報告書」作成、通産省へ報告 千葉製油所「コージェネレーション設備」完成 堺製油所「軽油深度脱硫装置」完成 石油連盟「有害大気汚染物質に関する自主管理計画」策定 ガソリン中ベンゼン含有量5容量%以下	ISO-14001「環境マネジメント規格」制定 「気候変動枠組条約第2回締約国会議(COP2)開催」(ジュネーブ) 「品質確本法」施行「経団連環境アピール」策定 (21世紀の環境保全に向けた経済界の自主行動宣言)
1997	ロシア船籍ナホトカ号重油流出事故に対し、 「ナホトカ号流出油防除支援チーム」設置 坂出製油所、ISO-14001認証取得 コスモ石油四日市霞発電所(IPP)「環境アセスメント」開始 坂出製油所「省エネルギーセンター」会長賞、受賞 軽油中硫黄分0.05質量%以下に低減 石油連盟「石油業界の地球環境保全自主行動計画」	ロシア船籍ナホトカ号重油流出事故 「エネルギー使用の合理化法(省エネ法)」告示改正 「廃棄物処理および清掃に関する法律」改正 「環境影響評価法」成立およびこれに伴う電気事業法改正 経団連アピールを受け、石連「石油業界の地球環境保全自主行動計画」策定 「気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)開催」(京都)
1998	二重殻構造(ダブルハル)の定期用船タンカー就航 千葉製油所、四日市製油所、堺製油所、コスモ松山石油、ISO-14001認証取得 「ガソリン低ベンゼン化装置」完成 千葉製油所「第2常圧蒸留装置加熱炉脱硝装置」完成	「地球温暖化対策推進大綱」決定 「地球温暖化対策の推進に関する法律」公布 「気候変動枠組条約第4回締約国会議(COP4)開催」 (ブエノスアイレス)
1999	生分解性潤滑油「テラシリーズ」発売 非塩素系ディーゼルエンジン油「新星」発売	第1回経団連「環境自主行動計画フォローアップ」 「PRTR法」公布 「ダイオキシン類対策特別措置法」公布 「気候変動枠組条約第5回締約国会議(COP5)開催」(ボン)
2000	坂出製油所「資源エネルギー庁長官賞」受賞 カスタマーセンター開設 「廃棄物管理規程」制定 ガソリン中ベンゼン含有量1容量%以下に低減	「気候変動枠組条約第6回締約国会議(COP6)開催」(ハーグ) 「循環型社会形成推進基本法」公布 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」公布 「廃棄物の処理および清掃に関する法律」改正
2001	「コスモ石油環境報告書2001」発行 千葉製油所「厚生労働大臣表彰優良賞」受賞 「第11回地球環境大賞優秀企業賞」受賞(文部省、フジサンケイグループ ほか主催、世界自然保護基金ジャパン特別協力) 「第5回環境報告書賞優良賞」受賞(東洋経済新報社、 グリーンリポーター・フォーラム共催) 四日市製油所「危険物安全大会消防庁長官賞」受賞 ガソリンの蒸気圧、夏季72kPaに低減	「気候変動枠組条約第7回締約国会議(COP7)」開催(マラケシュ) 「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」公布 中環審答申「今後の土壌環境保全対策の在り方について」
2002	コスモ・ザ・カード「エコ」発行 硫黄50ppm軽油発売	「土壌汚染対策法」施行 日本政府「京都議定書」批准 イラク戦争